



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩淵 文雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報IR部 部長 (氏名) 松原 弘幸
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	129,969	10.4	3,463	△17.5	3,742	△18.3	2,354	△15.8
29年9月期第3四半期	117,699	4.8	4,196	△0.5	4,580	2.0	2,795	△3.0

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 3,495百万円 (△33.8%) 29年9月期第3四半期 5,281百万円 (146.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	42.58	39.81
29年9月期第3四半期	53.61	47.28

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
30年9月期第3四半期	192,119		76,891		39.4	1,308.20		
29年9月期	173,699		69,688		39.4	1,298.88		

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 75,627百万円 29年9月期 68,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年9月期	—	10.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年9月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 3円00銭

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	2.5	5,000	△3.4	5,100	△6.1	3,000	△10.7	54.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	58,465,648 株	29年9月期	53,436,216 株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	655,249 株	29年9月期	696,248 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	55,298,192 株	29年9月期3Q	52,139,462 株

当第3四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式319,900株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年6月30日)におけるわが国の経済は、海外経済の底堅い回復を背景に、輸出や生産は緩やかな回復基調で推移し、また、雇用・所得環境の改善により個人消費も持ち直してきました。しかしながら、米国発の貿易戦争による世界経済の緊張は高まり、今後、中長期的な景気の下振れリスクが懸念されています。

また、当社グループが係わる食品関連業界では、労働力不足による厳しい雇用環境のなか、家計の節約志向も相まって、引き続き厳しい事業環境が続いています。

このような状況のもと当社グループは、平成29年10月にスタートさせました第六次中期経営計画「Growing Value2020」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「マーケットインに 대응する革新と進化」を目指し、食品販売事業では「食料資源の開発と食プロデュースによる安定供給構造の構築」を目指して、事業運営方針の各施策に取り組みでまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高129,969百万円(前期比10.4%増)、営業利益3,463百万円(前期比17.5%減)、経常利益3,742百万円(前期比18.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,354百万円(前期比15.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

(冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間は、増収増益となりました。当期は新設センター立ち上げ時の一時経費や減価償却費の増加、前連結会計年度に閉鎖した2センターの影響等、利益を下押しする要因がありました。しかしながら近年の新設稼働した各センターが順調に稼働率を向上させて着実に収益に寄与し、また既存のセンターも第六次中期経営計画の主要施策に沿い、顧客ニーズに立った拠点を軸にしたサービスの拡大と集荷活動への取り組みによって保管料収入の増加に結実しております。連結子会社THAI YOKOREI CO., LTDは、最近時のタイ国内の政治・経済の安定化を背景に生産活動が回復し、畜産品や果物・果汁の在庫が高水準に達し、業績を大きく伸ばして当セグメントの収益に貢献しました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は19,567百万円(前期比3.5%増)、営業利益は4,678百万円(前期比4.9%増)となりました。

(食品販売事業)

当第3四半期連結累計期間は、増収減益となりました。海外事業や輸出は比較的順調に推移しましたが、国内事業は主力商材の高騰等により荷動きが停滞する厳しい事業環境の中での展開となりました。

水産品は鮭鱒、サバの輸出が収益に貢献し、高値推移が続くエビ、イカ、カニは、コストの上昇を販売価格に転嫁できず利益を圧迫し収益を下押ししました。しかし、ノルウェーのトラウト養殖事業が概ね順調に推移した結果、当カテゴリーは前年対比では増収増益となりましたが、当該養殖事業を除くと大きく減益となっております。

畜産品は、ポーク、チキンともに需給バランスが崩れ、減収減益となりました。第2四半期時点で特に採算性を悪化させていたチキンについては、足元では在庫は正常化し、収益は回復基調にあります。

農産品は、主力商材の馬鈴薯が豊作に伴う単価下落の影響をうけ減収減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は110,358百万円(前期比11.8%増)、営業利益は693百万円(前期比58.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ18,420百万円増加し、192,119百万円となりました。これは主に商品が6,711百万円、受取手形及び売掛金が5,718百万円、有形固定資産が3,766百万円、投資有価証券が3,075百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ11,217百万円増加し、115,227百万円となりました。これは主に社債が10,000百万円、借入金が8,587百万円増加したこと、1年内償還予定の社債が4,778百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7,203百万円増加し、76,891百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ1,966百万円減少の4,432百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,299百万円の資金の減少(前年同四半期は7,182百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益3,462百万円、減価償却費3,750百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加額6,667百万円、売上債権の増加額5,696百万円等の資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,932百万円の資金の減少(前年同四半期は6,715百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出8,860百万円、貸付による支出3,377百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、17,221百万円の資金の増加(前年同四半期は13,970百万円の資金の増加)となり、その主な内容は社債の発行による収入10,000百万円、金融機関からの借入の純増額8,444百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,102百万円等による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「平成29年9月期 決算短信」(平成29年11月14日付)で公表いたしました平成30年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

売上高163,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益5,100百万円、当期純利益3,000百万円

なお、詳細につきましては、平成30年8月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,409	4,442
受取手形及び売掛金	21,866	27,584
商品	26,647	33,359
前渡金	8,883	7,740
繰延税金資産	635	466
その他	2,068	3,155
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	66,490	76,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,239	42,489
機械装置及び運搬具(純額)	7,019	7,145
土地	27,833	27,855
リース資産(純額)	651	988
建設仮勘定	1,516	2,477
その他(純額)	887	957
有形固定資産合計	78,147	81,914
無形固定資産		
のれん	7,553	7,169
海外養殖事業ライセンス	7,182	7,279
その他	1,734	1,791
無形固定資産合計	16,470	16,240
投資その他の資産		
投資有価証券	9,399	12,475
長期貸付金	2,397	4,066
その他	871	782
貸倒引当金	△78	△88
投資その他の資産合計	12,590	17,236
固定資産合計	107,208	115,390
資産合計	173,699	192,119

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,886	6,376
短期借入金	30,334	34,517
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	6,064	1,286
1年内返済予定の長期借入金	5,503	6,043
リース債務	87	143
未払法人税等	1,719	172
賞与引当金	737	186
役員賞与引当金	35	26
その他	7,159	5,375
流動負債合計	57,527	54,127
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	41,944	45,810
リース債務	264	536
繰延税金負債	2,897	3,297
役員報酬BIP信託引当金	147	154
退職給付に係る負債	730	836
資産除去債務	105	91
その他	393	372
固定負債合計	46,483	61,099
負債合計	104,010	115,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,533	13,922
資本剰余金	11,600	13,989
利益剰余金	41,773	43,026
自己株式	△539	△506
株主資本合計	64,369	70,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,061	3,609
繰延ヘッジ損益	△87	18
為替換算調整勘定	1,325	1,692
退職給付に係る調整累計額	△165	△124
その他の包括利益累計額合計	4,133	5,195
非支配株主持分	1,185	1,264
純資産合計	69,688	76,891
負債純資産合計	173,699	192,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	117,699	129,969
売上原価	106,460	118,706
売上総利益	11,239	11,263
販売費及び一般管理費	7,043	7,799
営業利益	4,196	3,463
営業外収益		
受取利息	50	145
受取配当金	129	184
保険配当金	30	37
補助金収入	117	0
為替差益	398	—
仕入割引	154	362
その他	170	328
営業外収益合計	1,051	1,059
営業外費用		
支払利息	325	591
支払手数料	299	2
その他	41	185
営業外費用合計	666	779
経常利益	4,580	3,742
特別損失		
事業所撤去損失	—	280
特別損失合計	—	280
税金等調整前四半期純利益	4,580	3,462
法人税、住民税及び事業税	1,835	827
法人税等調整額	△211	233
法人税等合計	1,624	1,060
四半期純利益	2,956	2,402
非支配株主に帰属する四半期純利益	161	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,795	2,354

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,956	2,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,065	548
繰延ヘッジ損益	△110	105
為替換算調整勘定	1,287	397
退職給付に係る調整額	81	41
その他の包括利益合計	2,324	1,092
四半期包括利益	5,281	3,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,029	3,416
非支配株主に係る四半期包括利益	252	78

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,580	3,462
減価償却費	3,429	3,750
のれん償却額	468	481
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△500	△550
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	237	146
事業所撤去損失	—	280
役員報酬B I P信託引当金の増減額 (△は減少)	42	6
受取利息及び受取配当金	△180	△330
支払利息	325	591
売上債権の増減額 (△は増加)	△698	△5,696
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,999	△6,667
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,995	1,159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△116	482
未払費用の増減額 (△は減少)	9	230
その他	784	52
小計	△4,616	△2,599
利息及び配当金の受取額	182	281
利息の支払額	△326	△508
法人税等の支払額	△2,421	△2,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,182	△5,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,666	△8,860
有形固定資産の売却による収入	23	2
投資有価証券の取得による支出	△617	△2,364
投資有価証券の売却による収入	—	168
貸付けによる支出	△4	△3,377
貸付金の回収による収入	635	640
その他	△86	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,715	△13,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,356	4,127
長期借入れによる収入	20,819	8,335
長期借入金の返済による支出	△3,345	△4,018
社債の発行による収入	—	10,000
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△1,051	△1,102
その他	△94	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,970	17,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	208	△1,966
現金及び現金同等物の期首残高	5,200	6,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,409	4,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,906	98,747	45	117,699	—	117,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,276	—	30	1,306	△1,306	—
計	20,183	98,747	76	119,006	△1,306	117,699
セグメント利益	4,458	1,655	43	6,157	△1,961	4,196

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,961百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,567	110,358	42	129,969	—	129,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,488	—	30	1,519	△1,519	—
計	21,056	110,358	73	131,488	△1,519	129,969
セグメント利益	4,678	693	41	5,413	△1,950	3,463

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,950百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。